

令和7年度 厚生労働省委託事業
「介護テクノロジー等による生産性向上の取組に関する調査及び効果測定事業」

効果測定事業・参加事業所の募集

生産年齢人口が減少し、労働力の確保に向けた制約が強まる中、介護サービスの質を確保するため、介護現場において、ICT、介護テクノロジー等の活用や業務の役割分担（いわゆる介護助手の活用等）などによる生産性向上の取組を推進することは重要です。

本事業は、介護施設等に対し介護テクノロジー等による生産性向上の取組について支援を行った上で、当該取組による効果実証を実施するとともに、実証から得られたデータの分析等を行い、今後の介護報酬改定の検討に資するエビデンスの収集等を行うことを目的としております。

介護テクノロジー等を活用した生産性向上の取組について、実証事業にご参加いただける事業所を募集します。

◆ 令和7年度実証テーマ（全体）

テーマ 番号	テーマ名 (略称)	目的	事業所数 (予定)
①介護テクノロジー等を活用した生産性向上の取組による「働きやすい職場環境づくり」に関する調査及び実証			
①-1	特定施設	「生産性向上に先進的に取り組む特定施設における人員配置基準の特例的な柔軟化」を適用した、または適用する予定のある特定施設における、生産性向上の取組の効果を把握する。	10事業所
①-2	生産性向上	「生産性向上推進体制加算(Ⅰ)または(Ⅱ)」を算定している、または今後算定しようとする、施設系サービスにおいて、生産性向上の取組の実態把握のためのデータを収集・整備する。	10事業所
①-3	夜間見守り	見守り機器等を導入した場合の夜間における人員配置基準等の緩和の対象サービス拡大や更なる見直しの検討に向けたデータを収集・整備する。	10事業所
①-4	訪問・通所系	訪問系サービス及び通所系サービスにおける介護テクノロジー等活用による介護サービスの質の維持・向上、職員の負担軽減、オペレーションの見直しによる業務効率化等の観点の評価・検討に資するデータを整備する。	10事業所
①-5	AI活用	AI技術等のテクノロジーを活用した場合の現場における課題の分析、介護職員等の業務の明確化・役割分担の見直し(タスク・シェア/シフト)の効果的な実施に資するデータを整備する。	6事業所
②介護事業者等からの提案手法による生産性向上の取組に関する調査及び実証			
②	提案型	介護事業者等から調査及び実証の実施を希望する生産性向上に資する新たな取組等に関する提案を受け付け、当該事業者等が選定する介護サービス事業所で実証を行い、目標に対する取組の効果を検証の上、その取組内容についての評価・改善を行う。	30事業所

◆ 実証の概要

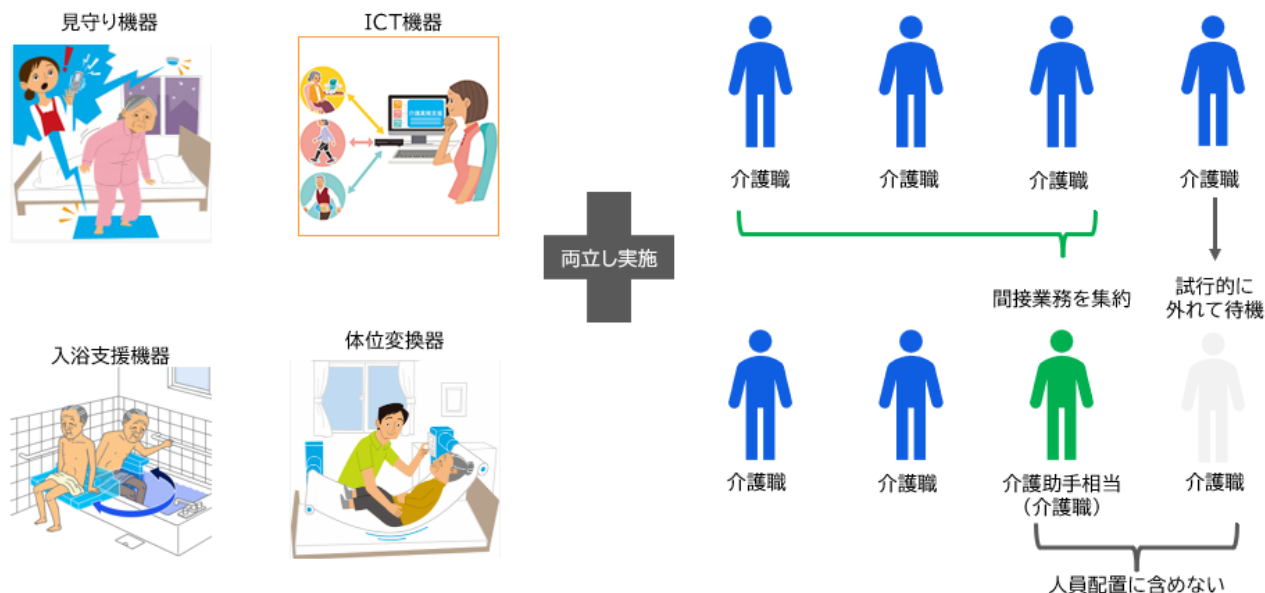
①－1 【特定施設】

「生産性向上に先進的に取り組む特定施設における人員配置基準の特例的な柔軟化」に関する実証

実証イメージ

見守り機器、ICT機器（インカム、介護記録ソフト等）、その他施設が複数活用するテクノロジーやいわゆる介護助手を導入し、オペレーション変更を通じたケアの提供を行い、オペレーション変更前と後のデータを比較し、その効果を把握します。

【取組内容のイメージ】



実証においてご協力いただく内容

1. 施設における実証研究責任者の選定
2. 実証研究を行うユニット、フロアの選定（実証テーマにより異なります）
3. 対象利用者の選定、利用者への説明（同意取得 等）
4. 実証研究に関わる施設職員に対する説明、取組に関する職員への講習会等の実施
5. 生産性向上の取組の実施（約6 か月間）
6. 調査へのご協力（タイムスタディ調査、アンケート調査、及び実証終了後のヒアリング調査等）

※ 実証にご協力頂く施設には、謝金をお支払いいたします。

実証スケジュール（予定）

- 令和7年7月 事前調査（取組前の実態把握の調査）
8月 生産性向上の取組の開始
9月 事後調査①（取組後の調査1回目）
11月 事後調査②（取組後の調査2回目）
施設向け・職員向けヒアリング

◆ 本実証へのお申し込み・お問い合わせ先

本実証へのお申し込みや本事業に関するお問い合わせは、以下の宛先へお願いいたします。

「介護テクノロジー等による生産性向上の取組に関する効果測定事業」事務局
株式会社三菱総合研究所 ヘルスケア事業本部
【特定施設・担当】 e:mail : r7r-tokutei@ml.mri.co.jp